

(51) Int.Cl.

識別記号

F 1

テニコート\* (参考)

A 6 3 G 19/12

A 6 3 G 19/12

A 6 3 C 17/01

A 6 3 C 17/01

審査請求 未請求 請求項の数 1 書面 (全 2 頁)

(21) 出願番号 特願平11-234470

(22) 出願日 平成11年7月19日 (1999.7.19)

(71) 出願人 599042980

高橋 弘二

東京都世田谷区船橋 1-51-3

(72) 発明者 高橋 弘二

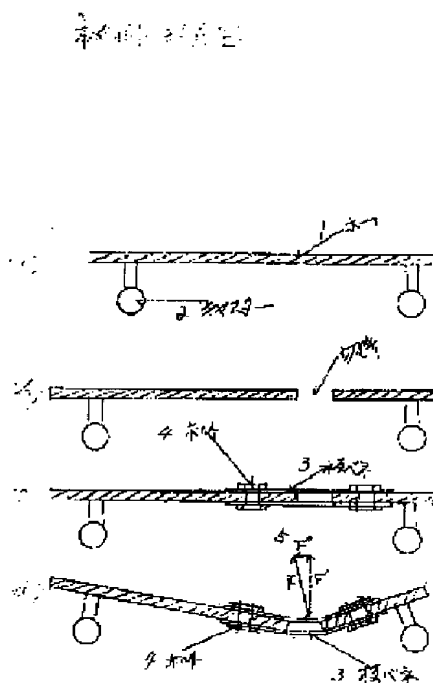
東京都世田谷区船橋 1-51-3

(54) 【発明の名称】 遊戯用スプリングボード

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】 従来の遊戯用ボードは、ボードにキャスターのみがついており、体の慣性力を利用して前進運動をさせており、技術的にも難しいので、子供が利用するには、危険でもあり限度があった。

【解決手段】 ボードのなかに本発明のように板状のバネを取り付けることによつて、ボード上の上下運動を利用できるので普通の子供にも容易に競戯用として利用できる。なお、ボルトの位置をずらすことによつて、強弱の加減ができるので、運動用具としては大変使いやすいものとなつて居る。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】板状スプリングの上下運動を、水平運動に変換する装置

【発明の詳細な説明】

【0001】【発明の属する技術分野】板バネの反発力を利用するのであるが、バネの反発力は変形した状態を元に戻そうとする方向に働くから、図1(a)のようにA、B2点を結ぶ線に垂直な方向に変形すれば、反発力は正反対に上方に働く。この場合図1(b)のようにA、B2点の高さに差をもうければバネの反発力は図1(b)のような方向に働くから、この力を水平と垂直なちからにベクトル分解すれば水平方向の力は、前進力として働く。

【0002】【従来の技術】従来の遊戯用ボードにはバネの力は利用していない。

【0003】【発明の解決しようとする課題】従来の遊戯用ボードにバネの力を利用する装置を付加し足のみによる慣勢力に体重の上下運動による前進力を加えてより

高度な運動用具としようとするものである。

【0004】【課題を解決するための手段】従来のキャスター付きのボードを長短に2分して分断し、この2つを上下2枚の板バネで、一定の間隔をあけて、ボルトによるネジ止めをする。このとき下側の板バネのボルト穴は前後に長方形とし、上下の2枚の板バネが曲がりやすいようにするとともに、一定の範囲以上に曲がらないようなストツバア役を兼ねさせる。なお、力を有効に利用するために、後方のキャスタアはストツパーをつけて後方に回転しないようにする。

【図面の簡単な説明】

【図 1】 本発明の技術分野の基礎

【符号の説明】

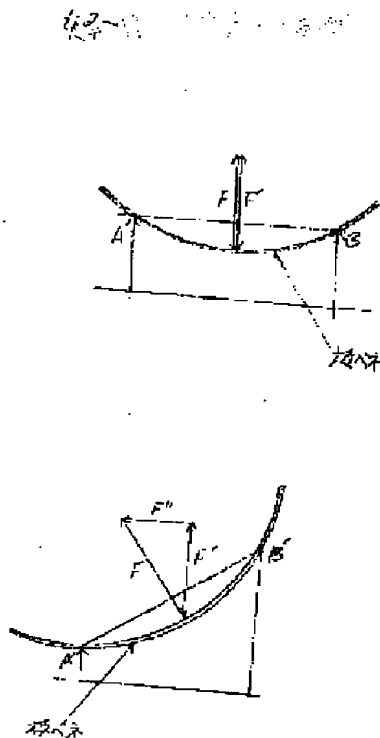
A、Bは支点 F、F'、F''は力のベクトル

【図 2】 本発明の断面図

【符号の説明】

(1) ボード (2) キャスター (3) 板バネ  
(4) ボルト (5) 力のベクトル図

【図1】



【図2】

